

所 属	地域県民部 文化振興室		
担当(係)名	オリベプロジェクト推進チーム	内 線	2455

(款)2総務費	(項)2企画開発費	(目)(2)企画調査費
(明細書事業名) 総合文化推進費 オリベプロジェクト推進事業		

1 当初予算(要求)額(千円)

58,888

2 当初予算(決定)額(千円)

43,700

(前年度 18,900)

【財源内訳】

一般財源

43,700

3 事業概要

古田織部が考案・指導し、江戸時代初期に大流行した「織部好み」と言われる茶器、インテリア、造園の手法に

は「非対称」「ゆらぎ」「ファジー」「個性」「自由」「奔放」「革新」「共生」「独創」「多様」といった特徴や理念があり、

それは茶の湯の文化にとどまらず、様々な産業や文化の領域に影響を及ぼした一大経済文化革命であった。こ

ういった「織部好み」の持つ理念や特徴を「オリベイズム」と称し、「オリベ」を岐阜県の産業・文化のブランドとして

世界に向けて情報発信するとともに、「オリベイズム」を陶磁器だけでなく、アート、デザイン、建築、ファッション等

の各種産業や文化に取り入れ、岐阜県内の産業・文化の更なる発展を目指すため、様々な事業(オリベプロジェクト)を推進します。

4 施策の効果

オリベイズムの精神が日常的に各分野で取り入れられることにより、岐阜県の風土・文化として認識され、岐阜

県の産業・文化の更なる発展につながる。

5 要求の内容

オリベ連活動事業 4,215千円

オリベイズムによる産業文化の振興に向けて、産業界等の積極的な活動を推進

織部賞授賞式等開催事業 38,503千円

国際的な顕彰事業を通じたオリベイズムの普及・啓発

オリベイズムインターネットホームページ展開事業 800千円

世界に向けて最新情報を発信

オリベイズム普及県民運動事業 14,970千円

事務費 400千円

6 用語の解説

古田織部(1544～1615)

美濃国山口(現在の岐阜県本巣郡本巣町)に生まれ、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康、徳川秀忠に仕えた

武将であり、千利休の後を継いだ天下一の茶の湯の名人で、将軍秀忠の茶道指南役であった。千利休の茶の

湯が侘び(わび)を旨とし、数寄(すき)を重んじる「侘びの茶」であるのに対し、織部の茶の湯は茶道具等に「織部好み」といわれる瓢箪(ひょうげ)たものを取り入れた、華やかさを醸し出す「武士の茶」であった。後に謀反の疑いで子重広とともに自害した。(享年72歳)

織部好み

古田織部が使用した茶器等に用いられているいくつかの特色あるコンセプト(例)へうげ、そこない、ゆがみ、ひび、つくりかけ、つぎはぎ等

7 決定内容

オリベ連活動事業 3,000千円

織部賞授賞式等開催事業 35,000千円

過去の執行実績等を勘案し、経費を精査のうえ所要額を計上することとしたが、うち、1,000千円は

予備費として執行時協議とする。

オリベイズムインターネットホームページ展開事業 800千円

オリベイズム普及県民運動事業 4,500千円

パンフレットの増刷については、既定経費対応とする。

情報発信については、商工局と連携し、様々な機会をとらえて実施すること。

テキスト制作委託については、教育委員会と十分調整し作成することとし、所要額を予算計上した。

事務費 400千円